



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日

上場会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7707 URL http://www.pss.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 福井 三佐子 TEL 047-303-4800
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	2,833	△16.2	△367	—	△344	—	△311	—
28年6月期第3四半期	3,379	△14.2	△429	—	△484	—	△437	—

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 △280百万円 (—%) 28年6月期第3四半期 △572百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	△15.00	—
28年6月期第3四半期	△21.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第3四半期	5,427	3,110	57.3	149.84
28年6月期	5,820	3,432	58.3	163.37

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 3,110百万円 28年6月期 3,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	△1.3	△590	—	△610	—	△620	—	△29.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）バイオコンテンツ投資事業有限責任組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期3Q	20,756,900株	28年6月期	20,756,900株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	一株	28年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期3Q	20,756,900株	28年6月期3Q	20,024,245株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、個人消費には依然として伸び悩みが見られるほか、世界経済では政治・経済の動向による変動リスクもあり、景気の先行きについては不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループはバイオ関連業界において、血液や組織細胞などの検体から遺伝子を抽出するための自動化装置(DNA自動抽出装置)を中心として、遺伝子研究の現場に対し様々な自動化装置を事業展開してまいりました。また、新製品として、遺伝子の抽出技術に増幅・測定技術を組み合わせた全自動遺伝子診断装置を開発し、これまでの研究開発分野に加えて病院や検査センターなどの臨床診断分野も対象として販売を開始いたしました。更に、装置の使用に伴い消費される、試薬(DNA抽出用の試薬)や反応容器などのプラスチック消耗品の製造販売にも注力いたしました。

これら製品は、世界的な販売網を有するバイオ関連業界の大手企業との契約によるOEM販売(相手先ブランドによる販売)を中心に、欧米子会社を通じた自社販売も含め、ワールドワイドに事業展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高2,833百万円(前年同期比16.2%減)、売上総利益976百万円(前年同期比13.1%減)となりました。2015年9月に発売した全自動遺伝子診断装置「geneLEAD XII Plus」については、OEM先を通じて順調な販売推移となり、前年同期比で売上は倍増いたしました。一方で、大手OEM先の一部において、製品出荷が一時休止となっている影響が大きく、前年同期比では減収減益となりました。

費用面においては、研究開発費478百万円(前年同期比6.5%減)となったほか、その他費用削減にも努め、販売費及び一般管理費は1,344百万円(前年同期比13.4%減)となりました。その結果、営業損失△367百万円(前年同期は営業損失△429百万円)となりました。

その他、為替差益8百万円、助成金収入18百万円などの営業外収益の計上により、経常損失は△344百万円(前年同期は経常損失△484百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失△311百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失△437百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		対前年同期増減率	(参考)前連結会計年度	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
報告セグメント	装置	1,788	52.9	1,468	51.8	△17.9	2,380	53.4
	試薬・消耗品	948	28.1	790	27.9	△16.6	1,206	27.1
	メンテナンス関連	333	9.9	205	7.3	△38.4	431	9.7
	受託製造	309	9.1	368	13.0	19.0	439	9.8
	合計	3,379	100.0	2,833	100.0	△16.2	4,458	100.0

① 装置

当第3四半期連結累計期間は、売上高1,468百万円(前年同期比17.9%減)となりました。一方で、営業費用は1,382百万円(前年同期比19.4%減)となり、営業利益86百万円(前年同期比18.6%増)となりました。詳細は、以下のとおりであります。

(a) ラボ(研究室)自動化装置

従来より事業展開しているDNA自動抽出装置を中心としたラボ向けの各種自動化装置の販売に関する区分であります。当第3四半期連結累計期間は、売上高949百万円(前年同期比13.2%減)となりました。一方で、営業費用は809百万円(前年同期比12.9%減)となり、営業利益139百万円(前年同期比15.1%減)となりました。

売上高につきましては、OEM先の営業状況や在庫状況によって四半期毎にバラツキがあります。当第3四半期連結累計期間につきましては、前年同期比で減収となりましたが、複数のOEM顧客との取引は長年にわたり安定した関係が続いておりますので、全体としては特段の懸念はないものと考えております。

以下に記載するOEM先に対する製品供給が、売上を中心となっています。

- Roche (ロシュ) : 世界有数の総合医薬品メーカー。診断薬部門は、遺伝子増幅技術 (PCR法) を有することで、バイオ関連業界の世界的なトップランナー。当社のOEM装置は、Roche Diagnostics GmbH (ドイツ) に対し供給され、Rocheグループを通じて世界的に販売されています。
- Qiagen (キアゲン) : 遺伝子抽出用の試薬メーカーとしては世界トップ。近年は診断分野にも注力。当社のOEM装置は、QIAGEN Instruments AG (スイス) に対し供給され、Qiagenグループを通じて世界的に販売されています。
- Thermo Fisher (サーモフィッシャー) : 理化学機器・試薬などを総合的に扱っているバイオ関連業界の大手企業。昨年、当社の装置をOEM供給しているLife Technologies Corporation (米国) がThermo Fisher Scientific Inc. (米国) に買収されたことから、同グループとの取引が開始されました。
- NanoString (ナノストリング) : 独自の遺伝子測定技術を有するバイオ関連業界の新興企業 (米国)。
- Diagenode (ダイアジェノード) : エピジェネテクス研究の試薬に特徴のある新興企業 (ベルギー)。

(b) 臨床診断装置

当社の事業領域として、遺伝子を利用した臨床診断分野が拡大しています。従来の研究開発分野に加えて、この分野の拡大に注力していきたいと考えています。

当第3四半期連結累計期間は、売上高519百万円 (前年同期比25.2%減) となりました。一方で、営業費用は572百万円 (前年同期比27.2%減) となり、営業損失△53百万円 (前年同期は営業損失△91百万円) となりました。全自動遺伝子診断装置「geneLEAD XII Plus」については、OEM先を通じて順調な販売拡大となりましたが、大手OEM先の一部における製品出荷の一時休止などの影響により、前年同期比では減収減益となりました。

以下に記載するOEM先に対する製品供給が、売上を中心となっています。

- (株)LSIメディエンス : 三菱化学グループの試薬メーカー (日本)。臨床検査センターも運営。当社のOEM装置は、各国の医療機器認可を得て、世界的に販売展開されています。
- Abbott (アボット) : 世界的に医薬品、診断薬、栄養食品などを展開するヘルスケア総合企業。臨床診断分野においては、世界最大の試薬メーカー。当社のOEM装置は、Abbott Molecular, Inc. (米国) に対し供給され、Abbottグループを通じて世界的に販売されています。
- Elitech (エリテック) : ELITech Group SAS (フランス) は、遺伝子診断薬及び装置を世界的に事業展開している企業。当社で開発した全自動遺伝子診断装置をOEM装置として採用しています。
- Diasorin (ディアソリン) : 欧州 (イタリア) の試薬メーカー。先方の遺伝子診断技術を利用した診断装置をOEM製品として供給。

② 試薬・消耗品

当区分は、当社装置の使用に伴い消費される、DNA抽出用の試薬や反応容器などの専用プラスチック消耗品の区分であります。試薬に関しては、自社ブランド装置及びエリテック社向けに当社のDNA抽出試薬を供給しているほか、一部のOEM先から同社試薬の製造を請負っております。その他のOEM先は、OEM先が自社で試薬を製造販売しておりますが、プラスチック消耗品は当社から購入する契約となっております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高790百万円 (前年同期比16.6%減) となりました。営業費用は763百万円 (前年同期比16.6%減) となり、営業利益27百万円 (前年同期比17.1%減) となりました。一部OEM先向けの製品出荷が休止状態であることから減収減益となりましたが、その他の取引先は比較的好調に推移しております。

③ メンテナンス関連

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ (交換部品) 販売などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社でメンテナンス対応しておりますが、スペアパーツは当社から購入する契約となっております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高205百万円 (前年同期比38.4%減) となりました。営業費用は176百万円 (前年同期比36.0%減) となり、営業利益28百万円 (前年同期比49.8%減) となりました。前年同期には、一部OEM先において本格的な製品出荷に伴い、初期のスペアパーツ在庫確保の観点から大量出荷が行われましたが、当第3四半期連結累計期間においては、製品出荷が休止状態となっているため低調な結果となりました。

④ 受託製造

当区分は、子会社の製造工場であるエヌピーエス(株)が実施している、当社以外の外部からの受託製造事業の区分であります。

当第3四半期連結累計期間は、売上高368百万円 (前年同期比19.0%増) となりました。営業費用は331百万円 (前年同期比25.1%増) となり、営業利益36百万円 (前年同期比17.5%減) となりました。当区分は、当社の主要事業ではないものの、エヌピーエス(株)の収益確保のための事業となっております。

⑤ その他

当区分は、PSSキャピタル㈱とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業区分であります。既に事業としては一定の成果を上げたところで終了し、両社とも解散しております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高はなく(前年同期も売上高はありません)、営業費用は0百万円(前年同期は55百万円)となり、営業損失△0百万円(前年同期は営業損失△55百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は5,427百万円となり、前連結会計年度末に比べて392百万円の減少となりました。主な要因としては、現金及び預金が461百万円減少、受取手形及び売掛金が380百万円減少した一方、たな卸資産が380百万円増加、有形固定資産が113百万円増加いたしました。

負債合計は2,317百万円となり、前連結会計年度末に比べて70百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金が22百万円減少、未払金などのその他流動負債が106百万円減少、長期繰延税金負債が39百万円減少、退職給付に係る負債が53百万円減少した一方、短期借入金が30百万円増加、長期借入金が97百万円増加いたしました。なお、退職給付に係る負債の変動につきましては、平成28年6月に100%子会社化したエヌピーエス㈱の退職金制度の変更によるものであります。

純資産合計は3,110百万円となり、前連結会計年度末に比べて321百万円の減少となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純損失の発生により利益剰余金が311百万円減少、非支配株主持分が41百万円減少した一方、為替換算調整勘定が30百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現状では予想値の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,631,875	2,170,537
受取手形及び売掛金	1,003,447	622,466
商品及び製品	931,418	830,257
仕掛品	90,536	254,056
原材料及び貯蔵品	129,902	447,547
繰延税金資産	6,669	5,251
その他	262,879	209,683
貸倒引当金	△2,080	△1,806
流動資産合計	5,054,648	4,537,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	470,590	470,145
機械装置及び運搬具(純額)	5,424	42,275
工具、器具及び備品(純額)	14,030	75,645
土地	214,842	214,842
リース資産(純額)	119	5,413
建設仮勘定	3,500	13,798
有形固定資産合計	708,506	822,121
無形固定資産		
ソフトウェア	906	8,350
その他	582	582
無形固定資産合計	1,489	8,933
投資その他の資産		
投資有価証券	37,440	37,440
繰延税金資産	2,913	3,282
その他	15,410	18,138
投資その他の資産合計	55,764	58,861
固定資産合計	765,759	889,915
資産合計	5,820,407	5,427,909
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	539,543	517,211
短期借入金	470,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	343,428	324,464
未払法人税等	28,793	12,075
賞与引当金	14,753	41,630
その他	272,371	165,538
流動負債合計	1,668,889	1,560,919
固定負債		
長期借入金	618,278	715,584
繰延税金負債	45,455	5,913
退職給付に係る負債	53,321	—
製品保証引当金	—	2,475
その他	2,388	32,840
固定負債合計	719,443	756,812
負債合計	2,388,333	2,317,732

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,972,609	2,972,609
資本剰余金	880,204	880,204
利益剰余金	△366,472	△677,919
株主資本合計	3,486,340	3,174,894
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△95,382	△64,716
その他の包括利益累計額合計	△95,382	△64,716
非支配株主持分	41,115	-
純資産合計	3,432,074	3,110,177
負債純資産合計	5,820,407	5,427,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,379,565	2,833,407
売上原価	2,255,705	1,856,811
売上総利益	1,123,859	976,596
販売費及び一般管理費	1,552,870	1,344,389
営業損失(△)	△429,011	△367,793
営業外収益		
受取利息	373	170
為替差益	—	8,452
助成金収入	1,890	18,073
未払配当金除斥益	—	3,105
保険返戻金	5,701	—
還付加算金	3,254	—
その他	934	4,036
営業外収益合計	12,154	33,839
営業外費用		
支払利息	11,417	10,121
為替差損	47,516	—
株式交付費	9,067	—
その他	—	0
営業外費用合計	68,001	10,121
経常損失(△)	△484,858	△344,075
特別利益		
投資有価証券売却益	4,280	—
固定資産売却益	—	2,092
特別利益合計	4,280	2,092
特別損失		
固定資産売却損	—	785
固定資産除却損	671	113
特別損失合計	671	899
税金等調整前四半期純損失(△)	△481,250	△342,882
法人税、住民税及び事業税	22,561	6,261
法人税等調整額	14,733	△37,697
法人税等合計	37,294	△31,435
四半期純損失(△)	△518,544	△311,446
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,078	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△437,466	△311,446

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△518,544	△311,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,431	—
為替換算調整勘定	△44,388	30,665
その他の包括利益合計	△53,820	30,665
四半期包括利益	△572,365	△280,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△486,500	△280,781
非支配株主に係る四半期包括利益	△85,864	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期累計期間における重要な子会社の異動)

ベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合が、平成28年7月に結了したことです。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	装置	試薬・消耗品	メンテナンス 関連	受託製造	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,788,376	948,226	333,083	309,878	3,379,565
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	1,788,376	948,226	333,083	309,878	3,379,565
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	72,908	33,349	56,898	44,730	207,886

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	—	3,379,565	—	3,379,565
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	—	3,379,565	—	3,379,565
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△55,087	152,799	△581,810	△429,011

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャー
 ファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△581,810千円は、各報告セグメントに帰属しない全社
 費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行って
 おります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	装置	試薬・消耗品	メンテナンス 関連	受託製造	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,468,520	790,948	205,273	368,664	2,833,407
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	1,468,520	790,948	205,273	368,664	2,833,407
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	86,502	27,641	28,559	36,884	179,587

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	—	2,833,407	—	2,833,407
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	—	2,833,407	—	2,833,407
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△380	179,207	△547,000	△367,793

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル㈱とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△547,000千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。